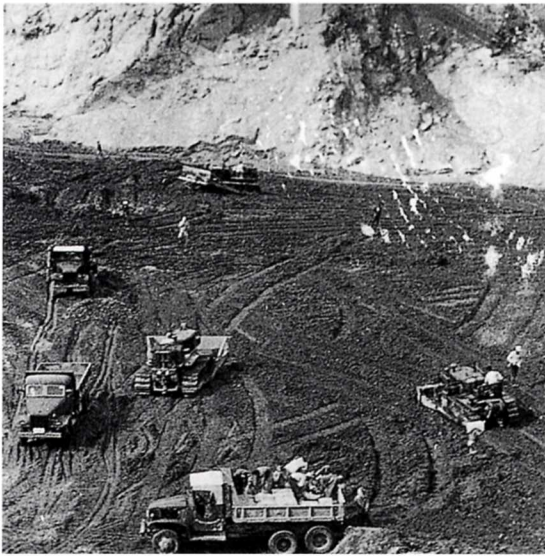




羽鳥からうつり住んだ人の話

ダムをつくることには、さんせいする人とはんたいする人がいました。しかし、県がかわりの土地を用意してくれたことや、国の仕事に協力するということから、羽鳥の土地をはなれました。うつってしばらくは苦しいことが多く、羽鳥の楽しかった生活が思い出としてのこっています。



ダムをつくっているところ



機械は使えるようになって、やっぱりたいへんな工事だったのね。



きっと時間がたくさんかかったんだろうな。

ダムは、セメントを使わず、土をもり、ねん土と石でつくりました。ていぼうの石は一つ一つ、人の手でつみあげてつくったのです。

用水路の工事も、ダムの工事に続いて始められました。水が自然に流れるように、地形をえらんでつくらなければならぬので、たいへんな工事でした。土地の高いところは、唐ぐわやつるはしどうを使って人の力でほりました。また、低いところは、トラックで土を運び、高いていぼうをつく